

## VLBI 懇談会 2020 年第 1 回役員会 議事録

日 時： 1 月 14 日(火)17:00-19:00

Zoom 会議

参加者（以下敬称略）：

出席： 小川、川口、久野、小林（議長）、寺家、関戸、岳藤、土居、土井、中川、中村、  
新沼、秦、藤澤、三澤、米倉  
（オブザーバー） 武士俣、小森

欠席： 今井、高羽、湯通堂

### 【議題】

#### 1. VLBI 懇談会シンポジウムについて

##### ・開催地

- 候補 1：東北大学（初参加のため次回以降を希望）
- 候補 2：NICT（前回候補地、全曜日開催可能）
- 議論の結果、2020 年は小金井での開催とする

##### ・日程

- 会場が大学の場合は休日開催が多くなるため、近年は平日開催が少ない。
- 学生は土日の方が出席しやすい
- 議論の結果、11/15（日）～17（火）で開催し、学生セッションは 15 日とする。

##### ・SOC

- 2018 年：今井（鹿児島）、2019 年：藤澤（山口）であった。
- 議論の結果、2020 年は、新沼（Chair,山口大）、三沢（東北大）、寺家（国立天文台）を決め、追加などをメール等で議論して決めて行くことにした。

##### ・LOC

関戸（Chair,NICT）、小林（事務局）とした。

##### ・テーマについて

- VLBI 懇談会に何が求められているか
  - 将来計画は（今までの研究の総括も含め）継続する。また将来計画 WG の活動もフォローする。
  - 東北大学が今年から参加→低周波 VLBI の検討などの案が出た。最終案は、SOC に任せる。
- ・ 2020 年度 NAOJ 研究集会第 1 回公募に旅費補助を申請（→採否は 3 月頃）する、申請書作成（事務局、小林）し、メール審議後、提出（1/17 〆切）

## 2. 今期の活動計画について

- VLBI 懇談会シンポジウムを継続して開催し、研究の活性化を図る。
- VLBI による研究の将来計画を審議する。そのために将来計画 WG を組織する。
- 東アジア VLBI 網や AOV をはじめ諸外国との共同研究を推進する。  
を了承した。

## 3. 名誉会員について

退職して貢献のあったものを名誉会員にする案を審議し、認定の方法、コンタクトの維持の問題など複雑になる面が多いとの意見が多く、現状通り名誉会員は置かないこととした。

## 4. VLBI 将来計画 WG の報告

昨年の VLBI 懇談会シンポでの議論を踏まえて、VLBI 将来計画検討会を 2 回開催した。これを VLBI 懇談会の WG とすることを了承した。いままでの審議内容は、2021 年度末の VERA の終了を踏まえて、国立天文台、大学の次期中期計画に反映させるためには、今年度中に方針を出す必要があり、審議を急ぐ必要がある。そのなかで、分かりやすい看板的なものも必要ではないかという意見もあることなどが紹介された。

### 【報告】

#### 1. 機関報告

・国立天文台（寺家）、東北大（三澤）、茨城大（米倉）、NICT 鹿島（関戸）、筑波大（久野）、宇宙研（土居）、極地研（土井）、山口大（新沼）、鹿児島大（中川）は資料に基づいて報告が行われた（資料参照）

大阪府大（小川）については、口頭で広帯域受信機を X 帯からミリ波帯にかけて種々開発していること、KVN,宇宙研 GREAT と共同研究を進めていることなどが報告された。

\* 次回役員会は夏頃開催予定だが、メールにて開催を審議する。（国立天文台研究集会第 2 回公募〆切は 6/26）